

平成24年度 まちづくりの取組み予定

平成24年度の主なまちづくりに関する取組みは、下記のとおりです。

年月	事業内容
平成24年5月	まちづくりガイド・まちづくり通信第4号の発行
7月	第1回まちづくり委員会の開催
8月	住民意向調査（アンケート）の実施
9月	生活幹線道路A路線の測量説明会（線形確定・用地測量） 建替え相談会の開催
10月	まちづくり通信第5号の発行
10～11月	住民意向調査の報告・懇談会の開催
平成25年1月	まちづくりイベント/住まいの相談会の開催
3月	第2回まちづくり委員会の開催



住民意向調査（アンケート）の実施について

第I期のまちづくりへの取組み方針では、生活幹線道路A路線の整備が実施する事業として決まっていますが、この他の計画の具体的な内容については決まっていません。そこで、次に取り組むプロジェクトを検討するために、全戸対象のアンケート調査の実施を予定しています。

地区のみなさまの意向を踏まえながら、今後の計画内容を決定していきますので、ぜひ、アンケートにご協力ください。

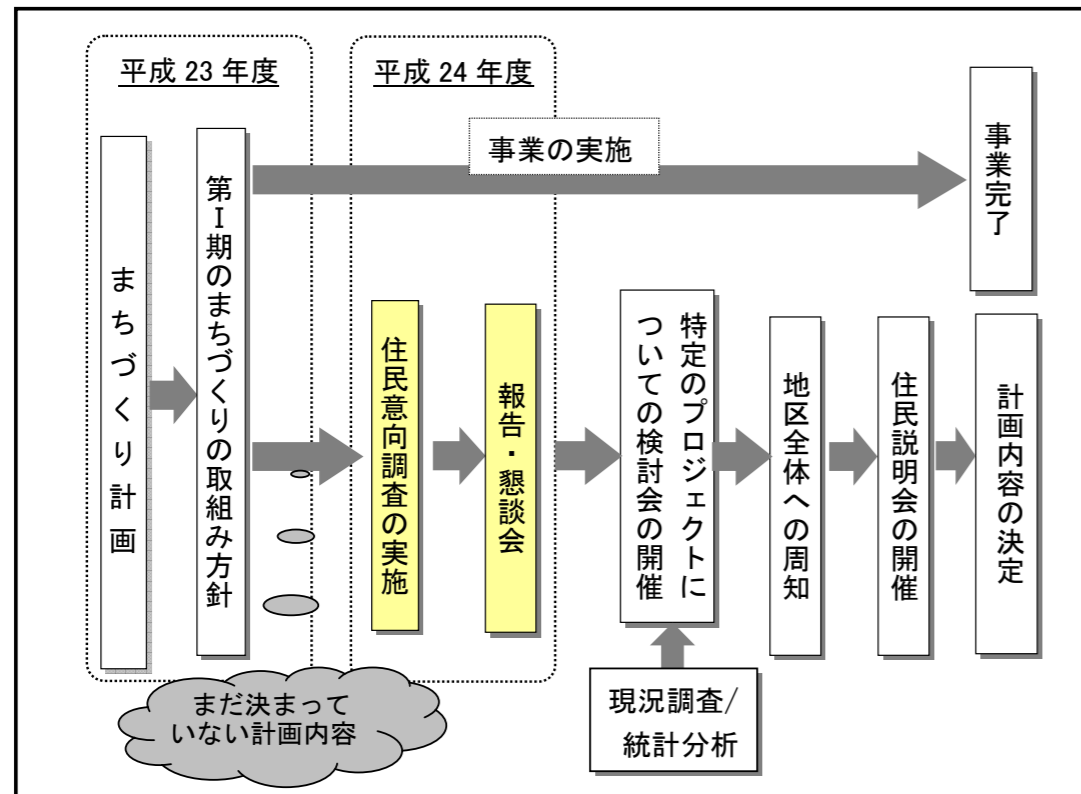


図 今後のまちづくりの検討フロー

「まちづくり講演会&懇談会」イベントを開催しました

平成24年3月10日（土）貫井福祉園において、下記の講演会および懇談会を開催しました。

講演会 「つなぐ・ひろがる・まちづくり」～災害に強いまちはどんなまち～

首都大学東京の名誉教授である高見澤先生をお招きし、「災害に強いまち」をテーマに講演していただきました。講演の内容は、先生がお住まいの玉川学園地区の団体や活動内容を例に、地域のつながりや活動を通じて、「災害にも強いまちがつけられるのではないか」というものでした。



懇談会

講演の後、高見澤先生を交え、貫井・富士見台地区の「まち」の魅力や地域の活動について、参加者の方と懇談会を開きました。

<主な意見や感想>

（参加者）様々な活動をしているリーダーを探し、つなげていくことが大事というお話があったが、どのようにそのリーダーを探し出せばいいのか。また、新たにリーダーを育成するには、どのようにしたらよいか。

（講師）一番難しい点であり重要です。すぐにリーダーを探すのではなく活動をやりたいと思っている人や、関心がある人、数人が集まって始めていくのはどうでしょうか。



（参加者）先生の地元の「まちづくり憲章」に興味を持ちました。憲章づくりまでに、どんな苦労があったか教えてください。

（講師）近隣の建築紛争がきっかけとなり、田園調布には「憲章」があると聞いて訪ねました。また、ときわ台の「町を考える会」の方に、まちを案内してもらいました。自分のまちのいいところを知って、案内できることはとても素敵なことだと思い、取組んではどうかと町会に相談をして、「まちづくり憲章」の作成に3年ぐらいかかりました。



（参加者）これまでまちづくりについて意識したことがなかったが、「まち」の良いところを見つけることはいいことだと思う。そのうえで、悪いところは直していこうと意識することが大切だと気づいた。

イベント参加者の方の“活動団体”紹介コーナー

ガラクタ公園では、「ガラクタ公園で体操をする会」による、楽しい簡単体操フリフリグッパーが開催されています。

日時：毎月第4月曜日 10:30～11:30

場所：ガラクタ公園内

<主催者さまからのひとこと>

「みなさん、楽しく一緒に体を動かしませんか。どなたでも気軽にご参加ください。」

